

## 学校運営

### インフルエンザ予防接種を

### 予防接種法により任意で

**問** インフルエンザ予防接種により重症化を抑えることで、一つのコロナウイルス対策にもなり得ると思うが、インフルエンザ予防接種は各学校で行われるか。

しかしながら、インフルエンザ予防接種は、予防接種法に基づき、定期接種ではなく、任意接種であるため、接種するか否かは、各ご家庭で判断することとされている。

**答** 藤本教育次長 この冬は、インフルエンザと新型コロナウイルスが同時に流行することが懸念されており、子どもたちへのワクチンの接種について、推奨する必要があると思う。

**問** 町として今後、どのようなコロナ対策が必要と考え、また、どんな整備を進めるのか。

学校での集団接種は、現在は未実施で、今後その方針に変わりは無い。

新型コロナウイルス感染症予防対策で示された予防対策を徹底する。また、物的な整備として、手洗い設備が不十分であった佐賀保育所、入野小学校、大方中学校に、手洗い設備の増設をした。各種備蓄品についても整備する。

**問** 各学校の、特別室へのエアコン整備の計画はあるか。

**答** 藤本教育次長 保健室、図書室、パソコン教室は、全ての学校にエアコンを設置している。また、音楽室3校、家庭科室2校、理科室は1校に設置をしている。特別教室の設置率は、71室中42室の59%。

設置する必要性は感じているが、費用が多額であり、国の学校施設環境改善交付金事業を活用して、他の改善事業と複合的に実施することにより、合理的で効果的な学校施設の整備を実施したいと考えている。

**答** 畦地教育長

文部科学省からの、学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル、学校の新しい生活様式という通知に基づき、対応する。

感染症対策については、

## 生活支援

### 特別定額給付金 交付状況は

1名除き  
全員に給付

**問** 一人10万円の特別定額給付金は全ての方に交付できたか。

**答** 青木地域住民課長 給付対象者は、基準日である本年4月27日現在で、5490世帯、1万996名。給付金額は、10億9860万円、給付率は99・91%。

**問** 各職種、各企業等への今後の対策と課題は。

だが、多くの皆さんの協力により、頑張った結果がこの数値だと思ふ。今回の給付金が、コロナの影響を受けた方々の生活の一助になることを願っている。

**答** 門田産業推進室長



給付金のイラスト

各種部門への事業者支援、および経済対策に対しては、支援が求められる場合や、スピード感が必要な場合など、多種多様な視点から検討を行い、支援が幾重にも切れ目なく展開されるよう検討してきた。今後とも、県の動向を注視し、各段階に応じた独自の経済対策の立案、具体的な取り組みを展開していく必要があると考えている。

なお、現在、本庁と支所に経済対策相談窓口を設置し、事業者の課題解決の一助になればと、職員による相談業務を行っている。

# 特別定額給付金